

海外研修便り

西下病棟 知念 亮

皆さんこんにちは。西下病棟で勤務しています知念 亮です。私は現在看護師の留学プログラムで、アメリカのメリーランド州にある **National Institutes of Health (NIH)** の中にある **National Institute on Alcohol Abuse and Alcoholism (NIAAA)** という部署で研修を行っています。今回の研修の目的として、**NIAAA** においてアルコール研究活動の実際を学び当院全体のアルコール依存治療に関する質の向上に寄与することを目的としています。今回で4人目の看護師派遣となります。

2013年11月23日に成田空港から約13時間のフライトを経てアメリカのダレス国際空港に到着しました。海外に出るのは初めてだったこともあり緊張して入国手続きの際、入国の目的をうまく伝えられず1時間近くかかってしまいました。その後アパートまでの道のりも電車、バスと海外で初めての乗り物をつたない英語で道行く人に聞きながらどうにかたどり着くことができました。



ダレス国際空港

今までと違い引継ぎの人がいなかったこともあり、最初の2～3週間はアパートや公共料金の契約、買い物、移動ととても苦労しました。しかし私の住むアパートや近隣には日本人の方が多く住んでおり、日本人の不動産屋もおり、契約の際には立ち会ってくれたりと多くの方に助けてもらいながら今日を過ごしています。

NIH では最初の約1ヶ月は新規 worker のためのオリエンテーションが組まれています。NIH 創設の歴史や、感染予防について、内部での禁止事項等こと細かに膨大な量の文章で書かれており、NIH worker としての心構えを学ぶことができます。文章を読んだ後は、テストがあり、

一定以上の点数を取らないと修了書がもらえません。ネイティブなら1週間程度で終わるテストですが、ひとつひとつ訳しながら理解するのはとても苦勞します。実際私は、3週間近くかかってしまいました。しかし今までの方々も同じくらいかかったと聞いてほっとしています。



【↑ NIH building10 私が研修を行っている建物です。こういった建物が10棟ほどあります。】

12月20日現在ようやくここでの暮らしや、食生活にも慣れ始め NIHでのオリエンテーションも無事終わり次回から病棟のプログラムの見学が始まります。ネイティブの英語は未だに聞き取ることが難しく、プログラムについていけるか心配ですが、これから頑張りたいと思います。



ナースステーションの様子